

部品交換要領書

勝手口通風ドア エアリフレ用、框ドア エアクリエ用 主錠ケース

HHW14-032
2014年12月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

| | | |
|---|---|--|
| 主錠ケース HH-4K-13310 HH-4K-13647  1 個 | 取付ねじ  主錠ケース本体 取り付け用：2 本 | 交換要領書  本書 1 枚 |
|---|---|--|

作業のために準備していただくもの

| |
|--|
| プラスドライバー   1 本 |
|--|

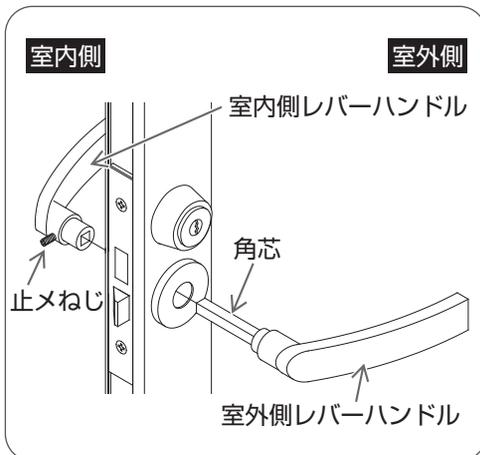
※部品が全てそろっていることを確認してください。

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 ハンドルの取りはずし



室内側よりプラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをはずし室内側ハンドルおよび室外側ハンドルをはずす。
※室内側ハンドルをはずすと室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずしたハンドルおよび止メねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

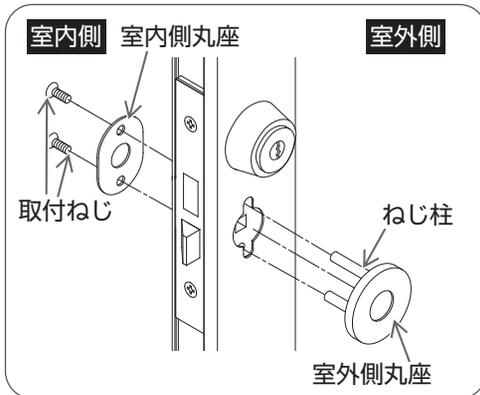
※部品の取り付け方は3・4ページをご覧ください。

部品の取りはずし方

お願い

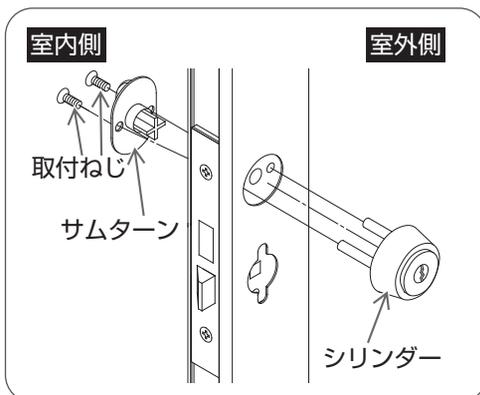
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

2 丸座の取りはずし



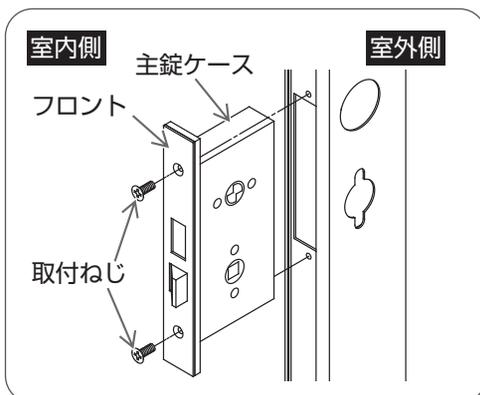
室内側よりプラスドライバーで室内側丸座の取付ねじをはずし、室内側丸座および室外側丸座をはずす。
※取付ねじを取りはずすと室外側丸座(ねじ柱付)がはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずした丸座と取付ねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

3 シリンダー・サムターンの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダーをはずす。
※取付ねじを取りはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずしたサムターンとシリンダーおよび取付ねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

4 主錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし錠ケースおよびフロントをはずす。

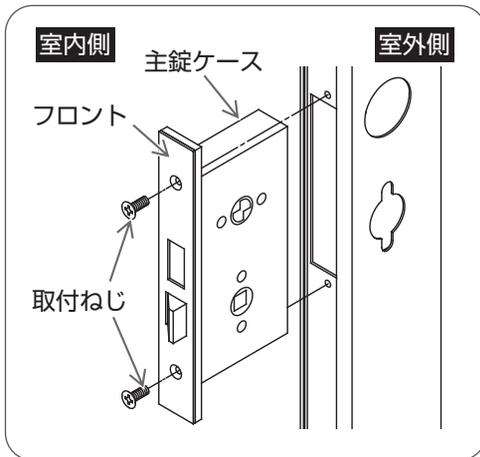
※部品の取り付け方は3・4ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

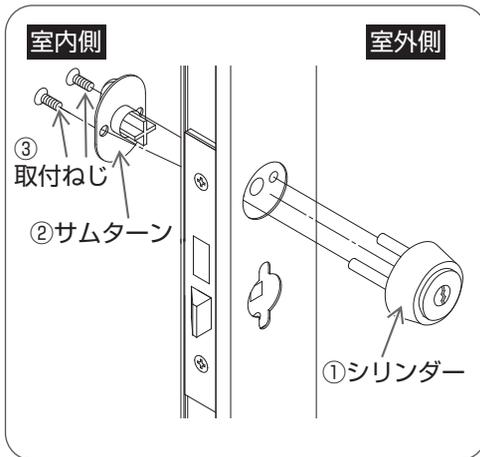
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 主錠ケースの取り付け



錠ケースを取付穴に差し込み、フロントを合わせ、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

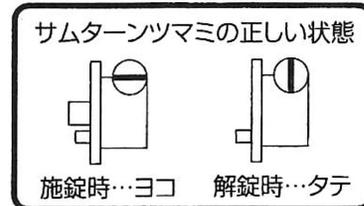
2 シリンダー・サムターンの取り付け



- ① 室外側よりシリンダーを錠ケースの取付穴に差し込む。
※シリンダーのGOALマークが上になるように取り付けてください。



- ② サムターンを施錠状態とサムターンツマミの向きを合わせて差し込む。



- ③ プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンツマミを数回作動させ、動きのよい所でしめる。

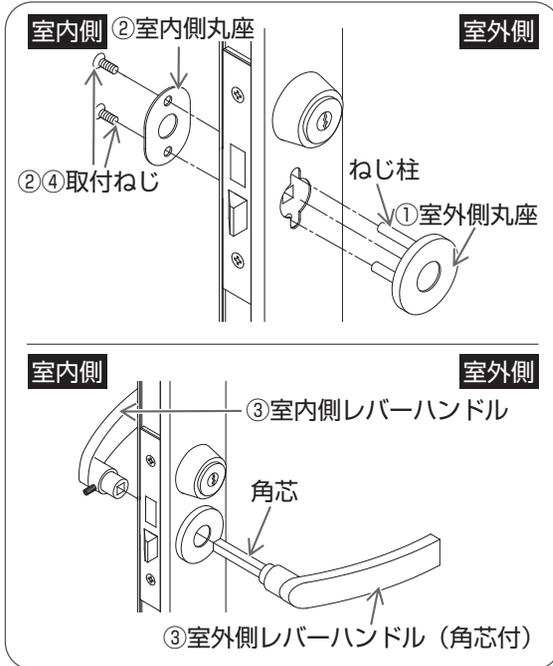
※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

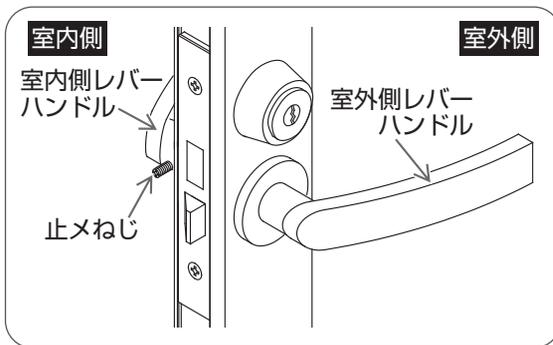
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 丸座の取り付け



- ① 室外側より室外側丸座(ねじ柱付)を取付穴に差し込む。
- ② 室内側より室内側丸座を合わせ、プラスドライバーで丸座の取付ねじを仮止めする。
- ③ 室外側より室外側ハンドル(角芯付)を丸座の穴に差し込み、室内側より室内側ハンドルを室外側ハンドルの角芯に合わせて差し込む。
※ハンドルの止めねじはしめずに仮付けの状態にしてください。
- ④ ハンドルを数回作動させ動きの良いところでプラスドライバーで丸座の取付ねじをしめる。

4 ハンドルの取り付け



プラスドライバーで室内側ハンドルの止めねじをしめる。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルを動かしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
- ④ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑥ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。